

区報・区ホームページ・区SNSによる意見募集の調査結果

No	性別	年齢	在住・在勤	区の福祉課題や充実を希望する施策（自由記述）
1	女性	50～59歳	在住	放課後等デイサービスや、移動支援のヘルパーが見つからず困っている。湾岸エリアに事業所が少ない。移動支援による事業所の収益が少なく、人が足りず大変とも聞く。働く人も、サービスを使う人も、安心できるようなあってほしい。
2	女性	40～49歳	在住	こども発達支援の充実を望みます。就学前はcocoに通うように、就学後も専門的な支援が欲しいです。学校のひまわり教室でも丁寧なご指導を受けられますが、専門性のある支援受けられる施設を公的（準公的）なものとして使って欲しいです。
3	女性	40～49歳	在住	言語障害者へ福祉サービスの充実を願います 子育て支援施設の拡大、充実を願います 幼老複合型施設を増やして欲しい
4	女性	40～49歳	在住	障害者福祉の充実を図ってください。 ・障害児・者の緊急一時保護事業へのさらなる助成、支援拡充 ・放課後等デイサービス事業所、児童発達支援施設、福祉作業所、グループホーム、入所施設等々への区独自の補助金（事業所の家賃補助や、非常勤も含めた職員への住宅補助等）の拡充 ・相談支援事業の拡充
5	女性	50～59歳	在住	家族が介護を受けているが 金額や介護する時間に縛られて介護を受けている方も気持ちよく介護受けられていないように感じる 議員や政府は しもじもの考えや生活をもっとしっかり知ってから福祉をうごかしてほしいと思う
6	女性	70～79歳	在住	誰もが気安く福祉の恩恵を受けられるよう今以上に施設を増やしてください どんな形でも良いですが特に老人ホームが増えて欲しいです
7	女性	70～79歳	在住	自転車に乗るのをやめたので、都バス（シルバーバス）を利用しています。 路線によりますが、本数が少ないのでそのような地域は区の有料バスが走ると助かります。 コミュニティバスの本数を増発して頂きたいです。病院や区の施設行き。
8	男性	40～49歳	在住	核家族化が進む中、異なる年齢の方との関わりが地域コミュニティの創出の鍵になっていると考える。異なる年齢の方他者との福祉、究極的には災害時の避難所生活のような場で生きる経験の場を行政主導で提供していただきたい。 例えば、住吉にある東川小学校は隣接することもブラザ、あそか園と連携した避難所体験（施設一階部分水没想定）などの取り組みを行うことで、乳幼児、小学生児童、高齢者という幅広い年代での避難訓練を通じた相互の地域福祉経験を積むことが出来る。また、事例を展開する事で他地域でのモデルとして活用することも出来る。 ぜひ、地域の福祉を地域にいる様々な主体が行うきっかけとして、監督行政部署縦割りではなく「地域」と言う横の繋がりでの相互理解、地域福祉を実現させて欲しい。
9	男性	20～29歳	在住	軽度障がい者(特に発達障害や精神障害など)への支援が少なすぎます。 特に聴覚過敏や視覚過敏などへ必要な装備、備品(イヤーマフやサングラスなど)の購入補助があると助かります。 また、軽度障がい者を対象とした居場所(同じような障がい者とその家族が集まり、困っていることなどの共有できる場)みたいなのがあったら当事者として嬉しいのです。
10	女性	60～69歳	在住	高齢者の集える場所をもっと増やして欲しい。今現在施設のある場所は不便な所にあるのが多い。コミュニティバスなどがあればもっと利用できると思います。
11	男性	50～59歳	在勤	ボランティア活動未経験者向け各種活動紹介、研修開催を期待します。 自分に何ができて、何が必要かを知り、経験する中で始めたいと考えています。
12	女性	50～59歳	在住	私は58才の専業主婦です。家族は夫、28才の知的障害者の娘です。 娘を地域のグループホームへ入居させたいと考え、探しています。希望は、通所作業所が運営するホームですが、職員の人手不足で新規の募集は数年間ありません。 東砂りバーハウスも、ショートステイで利用しています。グループホームの募集はありましたが、3年間の期間限定であるため、退去した後また新しいホームを探すことに不安があり応募していません。 周りの知的障害の子どもを持つ方は、民間のホームを利用しているケースもあります。 しかし、先日問題になった「恵」の事件のように、障害者のための福祉ではなく、会社の利益だけを考えるホームではないかと不安になります。 親もこどもも年をとります。お互いのために、離れて暮らすことを早く始めたいけれどできないことをどうぞご理解ください。

No	性別	年齢	在住・在勤	区の福祉課題や充実を希望する施策（自由記述）
13	女性	70～79歳	在住	年齢が高く成るにつれ1人住まいが多く成って来て居る様に思いますので、地域見守りが根付く事により何事も手遅れに成らず福祉に頼らず過ごせたら何よりだと思います。
14	女性	80歳～	在住	新しく 道路を舗装されて 歩きやすくなりましたが、車道と歩道の堺の段差についてご相談します。車椅子の方やシニアの方のキャリーカーが多くなっています。私もその一人です。交差点を渡りきった後 歩道になる時、段差があるのは以上に危なく感じます。わずか1cm でも買い物で重くなったキャリーカーがつかずくことがあります。交差点のところだけでも 段差をなくしていただければ助かります。
15	女性	50～59歳	在住	知的障害者のグループホーム（女性向け）や入所施設を増やしてほしい。 現状足りなくて地方の施設に行くケースが多い。 区内や隣区には特例子会社が多くあり、必要な援助さえ受けられれば自立生活を送れる知的障害の若者が多く在住している。 働きながら自分の生まれ育った地域で安心して自立した生活を送れる様に、寮やグループホームが必要。
16	女性	60～69歳	在住	・古石場在住です。できるだけ健康寿命を伸ばし自立した生活を送れるよう努力しています。 今は健康なので買い物や通院に不便はありませんが、これから高齢者になって身体的に弱くなってからの交通手段に不安を覚えます。 永代通りや越中島の海洋大学通りに出ればバス便がありますが、丁度その間の平行する通りに（ヨーカ堂方面に行く方向等に）地域コミュニティバスを通して欲しい。 ・特別養護老人ホームの増設
17	男性	50～59歳	在住	障害者1級で車椅子利用の生活保護受給者なのですが、現在四畳半の部屋で生活していますが、室内には 車椅子は入らず移動は 地面を這って移動しております。 先日、福祉の担当者に『もう少し広い部屋に移る事は可能ですか？』と問い合わせたところ、断られました。 いくら障害者で生活保護受給者であっても、この状況が人としての尊厳ある生活と言えるでしょうか？
18	女性	60～69歳	在住	*暮らし易い人間関係が有ることを望みます。 *緊急時の避難場所が日常的に分かりやすく表示があると良いです。 *目で見て解る情報保障を望みます。 *コミュニティの場所が増えます様に。
19	女性	50～59歳	在住	高齢者が明るく楽しく過ごす場所が少ないと感じています。 障害者、高齢者を介護している人、子育て中の人達が引きこもらないよう支援が必要。 横断歩道の段差に苦勞する車椅子の方を見ました。車椅子、ベビーカーが通れる道は皆に快適だと思います。 これから年をとるのが不安です。明るく、楽しく、過ごす高齢者を見れば、不安が軽減されるかなと思います。
20	女性	50～59歳	在住	地域福祉で在住の人が求めている大きさや課題は異なるはずで、またこのサイトをみれないお年寄り年代あるいは、病気持ち年代も多いはずで。悩みを聞いてあげる場所スペースがたくさんあればよいかも
21	女性	30～39歳	在住	親族が車椅子で生活しています。病院の受診など日常的に使っていますが、あまりにも道がひどいことを補助をしている際に実感しました。道の安定の悪さ、数ミリの段差ですらタイヤがひっかかり、上がるのに車椅子から一度降りなくてはなりません。道路と歩道の段差でそれは危険です。事故に繋がり生死に関わります。 車椅子を補助する側がそう感じるのです。一人での移動はそれ以上に大変でしょう。 車椅子の不便は身体障がい者のみなさんの不便にも繋がっていると思います。 みんなが不安なく快適に過ごせるようまずは道の整備から着手していただきますようよろしくお願いします。
22	男性	60～69歳	在住	高齢の親の通院費用の補助が、有れば助かります。
23	女性	50～59歳	在住	我が家には今月20歳になる肢体不自由の息子がいます。その息子の親亡き後、いろいろな施設での虐待や事件がある中、信頼できる職員がいて、ちゃんと生活できるか不安です。老人福祉は充実していると思いますが障害者福祉にももう少し力を入れていただきたいと思っています。
24	女性	40～49歳	在住	江東区は福祉よりも子供への対策に対する比重が多いように思えます。福祉の充実を希望します

No	性別	年齢	在住・在勤	区の福祉課題や充実を希望する施策（自由記述）
25	女性	50～59歳	在勤	我が家には知的障害重度の長男、中度の長女がおります。 そして勤務している会社は、少し前まで障害者の移動支援をやっていましたが、法律上で規制が多々あるので、やってあげたいという気持ちはあるが、稼ぎにならない為に辞めたとの事でした。 家族で出かけたくとも、親は、少しづつ歳をとっていきます。どうか障害ある子どもを持つ親の為に、法の整備をして欲しいです。
26	女性	60～69歳	在住	知的障害の息子と二人暮らし 移動支援や通院介助など利用していますがヘルパー不足で希望の日時に入ってもらえなかったり急な依頼はほぼ無理だったりです 区内のグループホームも希望していますがリバーハウスや塩浜リビングに申し込み面接までいきましたがダメでした このまま母にもしものことがあれば見ず知らずの地方の施設に連れて行かれるようで将来に希望が持てません とりあえずヘルパーさんの待遇改善して働き続けることができるように そして都有地など空地をよく見かけるのでグループホームなどに使用できるようにならないものか と思います 障害があっても育った地域で暮らしていけるよう福祉を充実させていただきたいです
27	女性	50～59歳	在住	お年寄りが生き生きと生活できる江東区であってほしい。 一人では外出出来ない方には付き添えるサポートなど。
28	女性	50～59歳	在住	老若男女問わない交流の場を色々な観点で行い、相互理解を進める その際、高齢者はSNSは苦手な人も沢山いると思うので事前予約不要のイベントを周知してもらえ るようにしてもらいたい 福祉が必要な人が気兼ねなく参加できるのが良いと思います 認知症などもこれから増えると思うので、そのイベントの趣旨に合わなくても構わない、の、ス タンスも必要だと思います
29	男性	30～39歳	在住	外国人に対してサービス、(役所、出張所、保健所の)英語サポートを増えてほしい。
30	男性	70～79歳	在住	スマホによる行政サービスも高齢者には操作ができず、諦めている。取り残さない為のIT相談や指 導などの窓口を多くして欲しい。
31	女性	60～69歳	在住	高齢者になっても正規職員で働きたいと思って、資格を持っていたとしても、なかなか難しい 所得が低いのでぜひ働く場の提供をお願いしたいです 健康で働けるうちは働くというライフバランスを考えていただけるとありがたいです
32	女性	50～59歳	在勤	○歩道の段差が危険です。ベビーカーでも引っ掛かり車道から歩道に移動しづらい。 ○信号機がない横断歩道で止まってくれる車がほぼなく危険です。 ○発達障害児で普通級との学習の差が大きい。教科書（理科、社会等）があるのに全く使わない。 もっと平等に学べるようにするべきです。放課後や障害児の学習支援を望みます。弱い人達をもっ とみて欲しいです。もっともっと改善して欲しいです。
33	男性	70～79歳	在住	高齢者が多いので自転車の通行規制を進めてほしい
34	女性	30～39歳	在住	子どもに対しての福祉にもっと力を入れてほしいと感じています。 保育士さんや会計任用さんの給料アップにより、園に属する保育者人員拡大を図り、クラスあたりの 保育士配置人数の増加を希望します。 病児保育施設の増設を希望します。 子ども発達支援センターの増設または拡大を希望します。亀戸センター移転により少し改善された ものの、不便になった部分もあり、あまり良い選択だったと思えません。施設の広さが十分に足り ていないことや通所の枠が希望に対して全く足りていないなど課題も沢山あり、説明会でもこちら の声に真摯に向き合ってもらえている気がしませんでした。 小学校の情緒級の拡充もお願いしたいです。 保健相談所の保健師さんの知識アップデート（コミュニケーション研修の充実など）をお願いした いです。産んだばかりで情緒不安定な状態にもかかわらず、心無い言葉で傷つけられたり、不安を 煽られることが頻発しています。乳児検診でも、事前にアンケートに相談したいことを書いてもス ルーされ、何のためにアンケートをとっているのか謎でした。期待させるだけさせて、助けてもら えず絶望感を感じたこともあります。 やるならやるで、きちんと対応をすることが必要だと思います。フォローしきれないなら、アン ケートからその項目は消した方がいいと思います。

No	性別	年齢	在住・在勤	区の福祉課題や充実を希望する施策（自由記述）
35	女性	50～59歳	在住	高齢の両親が近所に住んでいます。 要介護ではありませんが、歩行困難でバスの利用も難しいときがあります。 高齢で運転も危なっかしいので、免許返納を勧めましたが、車まで使えなくなると陸の孤島になってしまいます。外出できなくなると、メンタルもだいぶ鬱々とするようです。 最近のタクシーはアプリ対応で呼ぶことも難しいようです。高齢者のタクシー利用に区の補助や、高齢者がタクシーを呼びやすい仕組みを作って頂けると良いと思います。
36	女性	40～49歳	在住	江東区のスタートアップと連携して新しい事業を進めて欲しい。 介護事業所は変わりたくない考える人が多いので、外からの意見をもっと取り入れた方が良くと思う。
37	女性	70～79歳	在住	できるだけ長く自宅でケアを受けられることを目指してほしい。特に単身者は、例えばゴミをゴミ置き場まで持っていか、エアコンに手が届かなくてフィルター掃除ができない等のちょっとしたことに手を貸してくれる人がいないので自宅にすることが難しいです。30分くらいなどの低価格で頼める人がいれば施設利用を遅らせることが可能になると思います。
38	女性	60～69歳	在住	江東区に30年以上在住しております。住みやすく、大好きです。誰でも、気軽に参加出来るコミュニティを沢山提供して欲しいです。
39	女性	60～69歳	在勤	前期高齢者の再雇用（業務委託等）の機会創出やボランティアの場の提供
40	女性	50～59歳	在住	年齢に関わらず、集い、協力しあえる環境を作って欲しい。高齢者や障害をお持ちの方のスキルを共有出来るような環境を作り、スキルを享受できる喜びと達成感を得て欲しい。
41	女性	60～69歳	在住	コミュニティバスを走らせてほしい。 江東区内大きな通りを走るバスはあっても、一旦ターミナル停留所、亀戸、東陽町などで乗り換えて横の大通りに乗り換える的な事をしなくてはならない。 また、停留所までも少し距離があったりとかで、老人や障害のあるかたの行動範囲や行動頻度に影響してしまう。 また、亀戸駅東口の階段の整備、エスカレーターやエレベーターの設置を希望します。
42	女性	70～79歳	在住	コロナ禍による社会的不安の中で不本意ながら社会生活から落ちこぼれてしまっている人たちへの精神的経済的支援対策が必要だと思います。時代に即した新たなメンタルケア、就業サポート等の福祉計画の発動が望まれます。
43	男性	80歳～	在住	有明に住んで5年になりますが、タワーマンションが若い家族構成の為、高齢者には住みにくいエリアと感じています。 区の行政サービスが行き届いていないと感じます。
44	女性	40～49歳	在住	京葉道路の歩行者が渡る信号時間をもう少し長くして欲しい。 【理由】 杖を使って歩いている老人が信号が青になるのを待って、青になってから頑張って歩いているが、渡り終わるのがギリギリ。もう少し、ゆとりがある時間が必要なのでは？と思います。
45	女性	40～49歳	在住	子育て支援に関して、発達障害やそのグレーゾーンに対しての支援を充実させて欲しい。 具体的には、専門の相談窓口を儲けたり、気軽に児童精神科に相談できるようにしてほしい。何ヶ月も待たされたり、グレーゾーンだから何も手立てがないと言われる状況なので。 放課後等デイサービスの誘致や、事業者への助成などをしてほしい。江東区はその方面のサービスが他の区に比べて少ないし、充実していないと感じている。
46	女性	60～69歳	在住	一人暮らしの老人が安心して暮らせる社会になれるよう、是非区の対策をおねがいします。 私は主人と90歳の義理の母がいますが無事に生活をさせていただいています。住みやすい江東区が続いて欲しいと願っています。
47	女性	40～49歳	在住	湾岸地域は人口増加しているのに、福祉施設がない。 そして、サポート体制も弱いと思います。 お台場や有明で行事やイベントがある時には、亀戸など城東地区からの参加は乗り換えが3回とも聞きます。 高齢者や障がい者にとっても不便。
48	男性	70～79歳	在住	区政の具体的な施策が見えない。もっとPRが必要と思う。
49	女性	30～39歳	在勤	地域の住民が集まったり相談できる場所をもっと作って欲しい。コンビニくらいの距離感の場所が良いです。

No	性別	年齢	在住・在勤	区の福祉課題や充実を希望する施策（自由記述）
50	女性	60～69歳	在住	先月、お1人暮らし、車椅子女性90代前半の方が…、ヘルパーさんに付き添われつつ…、入浴サービスを受けていた会社都合にて、サービスを受けられなくなったお話をしながら…、俯いてがっくりされてる様子と対面しました。その様な時の相談先等、対象者、また、周囲に明確に伝わる形が今後必要と感じました。 自分のアンテナ不足かと思いますが…、宜しくお願い致します。
51	女性	50～59歳	在住	老健、特養等に財源を増やしてほしいです。福祉施設が人材を確保できるように。 また、リハビリ必要な利用者が、老健では週3回20分しか受けられないので、身体機能が衰えて行っています。時間を多くできるよう規則の変更、改善頂きたく宜しくお願い致します。 こんな短時間では何も出来ないこと、現場から情報収集すればわかります。現場では少ない時間で何が出来るか、知恵を借りながら対応しております。 コロナ以降、家族が間近で会えなくなり、面会もままならない状態は変わりません。高齢者福祉施設や病院ではコロナは決して終わっていません。毎回コロナの検査をするでも、毎回防護服を着るでも、何かしらの方法で面会緩和の方針を決めてもらえませんか。家族に会うことで回復の力をもらえる利用者さんはたくさんいます。また家族の苦しい気持ちも緩和されると思います。
52-1	女性	50～59歳	在住	今回の機会に感謝します。 日頃、福祉に関して困っていること、課題についてあげてみます。 1.未就園児の預け先が足りない。 更に多くの児童館や幼稚園、保育園で預かり保育、訪問保育を実施出来ないものか？特に1歳未満児の預かり先が必要。 2.親子・過程・家族が相談出来る場所が少ない。 家庭支援センターに相談できることを知らない家族は多い。江東区家庭支援センターは18歳までの相談対応が可能なものか？児童館で相談出来るものか？教育センター、区の福祉課、社会福祉協議会等を出向させ広範囲で相談対応して欲しい。 3.全ての学校に特別支援学級と通級支援教室を設置するべき。さらに誰でも教室を設置し、居場所・学習支援・単位につながる仕組みを作りたい。境界知能の生徒や不登校生徒の受け皿・選択肢が少ない。 4.学校サポーターを募集して、生徒・教職員の補助を行い、地域に開かれた学校、教育を実施してほしい。保護者が希望しても加配職員の回数が少なすぎる。教員の負担を減らすよう区でも模索するべき。 5.不登校、不登園の子供の居場所を家庭支援センター、児童館、図書館、放課後デイ、高齢者・障害者・その他の児童施設にも設け、出席単位に?げること考えて欲しい。フリースクールの誘致・助成、児童デイ・放課後デイ、居宅訪問保育、居宅児童発達支援等でも積極的に受け入れるようにして欲しい。
52-2				6.乳幼児から18歳までの健常児、障害児のショートステイ、日帰り、アフターケア、ナイトケア施設を作ってください。障害児が利用できる施設・サービスが少ないので厳しい。 7.障害児が利用できる児童発達デイ・放課後デイが足りない。そのため仕事復帰出来ない保護者や経済的に厳しい家庭も居る。 区に誘致するため、家賃補助、空き家・区の土地建物の利用助成・優先利用等を検討して欲しい。 8.産後ケア施設の数を増やし、助成で受けられる料金・回数・内容を検討するべき。 9.妊娠・出産・産後の相談・対応できる施設を現行の助産院、産婦人科、保健所等に設ける。 10.医療的ケア児を受け入れる施設が少ない。医療的ケア児と保護者分離できる児童デイが民間にしかないのでは圧倒的に数が足りない。区として実施を検討しないのか？ 11.江東区に立地する都立支援校の学校看護師が足りない。区で退職看護師・退職医師を登録し派遣出来ないものか？

No	性別	年齢	在住・在勤	区の福祉課題や充実を希望する施策（自由記述）
52-3				12.区に障害児者対応できる介護事業所となり手が少ない。家賃補助、や区独自に助成を行い、事業所・担い手を増やしてください。 13.区独自で喀痰吸引研修を実施し、医療的ケア実施できる人材を増やしてください。 14.医療的ケアがあっても利用できる生活介護施設、グループホームを増やして欲しい。 15.福祉タクシー券の増額、リフト付福祉タクシーの数を増やしてください。 以上となります。 ご検討の程宜しくお願い致します。
53	女性	40～49歳	在住	医療的ケア児をもつ親です。 子供が大きくなり、家族だけではお風呂に入れること難しくなってきました。 区内の小児も対応できる介護事業所があまりにもないため、困っています。 湾岸エリアも来て下さる小児対応の介護事業所を作って欲しいです。
54	男性	70～79歳	在住	区の福祉課題に関連する高齢者の総合相談支援機能の強化や認知症施策の充実のために成年後見契約に関する法律の一つである「任意後見契約」の大衆化を提案します。 現在のところ成年後見制度は普及しておりません。その原因は、法律の運用の中心となっている法定後見が高額な費用と期間の長さが、利用者に重い負担となっております。更に後見人による使い込み事件があって、立法の精神とは裏腹に利用者に悪いイメージが広がっているためです。 このことから、私は法定後見ではなく、任意後見の制度を地域コミュニティ内で合理的に運用することができるようになることを提案します。 ついては、江東区に在住する社労士や行政書士等、志ある者たちで「任意成年後見契約を普及する会」を立ち上げますので、裁判所が選任する任意後見監督人の役割を区が引受けて下さることをお願い申し上げます。
55	女性	50～59歳	在住	現在高校三年生の、重度知的障がい児を育てている親です。 放デイが出来て、学校と放デイを使いながら、上手く生活出来て来ました。卒業後の支援が急に少なくなり、ヘルパーさんやショートステイを利用したくても、空きが思う通りには行きません。又、親なき後を考え、入所かグループホームに入れる事を考えていますが、現状全く足りないと思います。年々、障がいを持つ人が増えて来ているので、早急に整備して頂き、子供が順応出来るうちに、重度の人が入れる施設を作ってください。
56	女性	40～49歳	在住	障害児、者の親の就労支援をお願いします。具体的には放課後デイサービスの拡充(特に高等部以降)、高等部卒業後の生活介護施設の拡充、障害児者の扶養に係る諸手当やサービスの所得制限の撤廃を要望します。 現在、重度知的障害の息子を臨海青海特別支援学校に通わせています。フルタイムで就労するにあたり、朝の送迎バスに寄せ、下の兄弟を保育園に登園させた後に通勤していますが、放課後デイサービスの1迎えが毎日17:45前後になるため、通勤時間を加味すると絶対に迎えに間に合いません。 さらに夏期、冬季、春季長期休暇の際は、放課後デイサービスの開始、終了時間が短縮されるため、親のどちらかがパートタイムにならざるをえません。 障害の程度が重いため、中学、高校へと進んだとしても、自分自身で登校できる見込みはありません。また、高校を卒業し、生活介護施設で過ごす場合も。施設の終了時間が3時前後の所が多く、一生介護を続ける形になります。 これまで積み上げてきたキャリアも、今後の収入の見込みも障害児が産まれたことにより全てが崩れてしまいました。後期高齢者の親に子の介護を頼んで就業を続けられたとしても、いまだに残り続ける諸手当の所得制限に就労意欲が削がれます。 障害児が産まれても安心して暮らせる自治体でなければ、少子化は解決できないと思います。 まずは障害児者の親の就労状況に関して実態を調査し、誰もが取り残されない社会になるような施策を望んでいます。
57	女性	40～49歳	在住	今だけではなく、次の世代にも過不足なく福祉が行き渡るように計画的に福祉を進めてほしい。現在の財源の過度な消費はしないでほしい。 また児童発達支援は過剰な一方、放課後デイは非常に不足。こちらも過不足ない福祉を希望する。

No	性別	年齢	在住・在勤	区の福祉課題や充実を希望する施策（自由記述）
58	女性	40～49歳	在住	障がいある児童の移動支援や放課後デイサービスの拡充を希望します。福祉事業所は移動支援だけではなく成り立たないため、ほとんど受け入れていただける枠がありません。 また放課後等デイサービスもどこも空きがなく、満足のいく教育を受けるための環境がありません。 また、現在の心理的状況においてはインクルーシブな教育環境となっていないと感じます。これは他地域から引越をしてきた経験から、その考え方の違いを顕著に感じます。
59	女性	40～49歳	在住	障害者の入所施設が増えてますが、まだまだ足りないのが現状です。亀戸に、高齢者施設建設中です。 豊島区の、オリナスふくろうの杜ご存知でしょうか？一度視察をご提案します。 障がい者福祉センターの敬心会も入ってます。 高齢者と障がい者の複合施設で、それぞれ施設の運営は、別会社ですが、施設内は、中で繋がっていて、高齢者や、障がい者が行き来しているような、フラットな施設です。 高齢者の方が、障がい者の方の、お手伝い洗濯たたみや、お世話。デイサービスなどでの関わりが、双方にとって良い影響があると考えられます。 保育園と高齢者施設の複合施設もありますが、障がい者施設と高齢者施設の複合もとても有効だと思います。
60	男性	40～49歳	在住	いろいろな事が「縦割り行政」で連携ができていないように感じます。 『基本方針1【施策1】地域のつながりをつくる』とあるが、どのようにつくのでしょうか？ 江東区に居住し子供が生まれても、保育園のため他地区（居住地区でなく江東区内の別地区）に行くために、地域の子育て仲間をつなぐ事が難しいです。 この状況で区立小学校へ上がっても地域の繋がりが薄く、またPTAの活動へ参加しない（余裕のない）人も多く、ここでもつなげられない。 そしてつながりが薄いまま地域に住んでいるのが現状です。 地域行事があるのはありがたいですが、つながりがない中でお手伝い等手をあげるにはハードルが高いです。 同じ地域に大型の保育園があれば、そこでつながり、そのつながりがある中で小学校や地域行事に触れることで、町会自治会とつながりができると思います。 もしくは区立幼稚園がもっと使いやすければ、幼小と長いつきあいの中でつながりが生まれたと思います。 地域で頑張ってくれている方の肩書を聞くと、小学校・中学校でPTA会長をしていた方が多いと思います。（高齢な町会長も、昔はPTA会長やっていたと昔話も聞きます） 若い世代から「地域のつながり」をつくらなければ解決は難しいと感じます。 区でいろいろな役割を作っていますが、結局地域で活躍している「同じ人」が請け負っています。（請け負ってくれる地域の方は良い方が多いので「また押し付けられたのかな？」と見えます） 区は、形ができる事だけで満足しているように感じます。 もっと育児の段階からつながりが薄いという現状を理解し、対策を考えて欲しいです。
61	女性	50～59歳	在住	小学校、中学校のインクルーシブ教育、フィンランド式の小学校の教育スタイルを希望します。 原始反射統合のトレーニングや呼吸など、自律神経を整える授業も取り入れてほしいです。
62	男性	60～69歳	在住	車椅子等の移動用具が通行し易いように、歩道幅の拡大や利便性を向上させる。 合わせて歩行禁煙の徹底を条例化する。 いまだに公園や遊歩道で喫煙している不届者がいるし、看板等での徹底もされていない。先進自治体を見習うべき。
63	女性	60～69歳	在住	地域包括支援センターを、江東区では「長寿サポートセンター」と呼んでいるので、高齢者向けだと思いますが、高齢者に限らず、たとえば若年性認知症を発症した方、障がいを持った方などに対しても、地域拠点ごとに包括的なサポートができるようになったらいいのかなと思います。
64	男性	70～79歳	在住	任意成年後見人を大衆化するよう制度の説明会を開いてください。
65	女性	40～49歳	在住	福祉と関係あるか分からないですが、昭和大学豊洲病院行きのバスとジュンテンドー高齢者病院行きのバスを増やして欲しい
66	男性	60～69歳	在住	この様な意見聴取の機会を適宜、増やして行ってください。